

高画質なのに低コスト、だから撮った写真がプリントしたくなる

A3プリントで 撮影テクニックを磨こう



撮った写真はプリントしていますか。インクコストが気になるし、パソコンが面倒でしていないという方も多いはず。エプソンの「Colorio V-edition EP-10VA」は、高画質ながら低コストを実現し、PCレスで手軽にプリントできる。例えばこの誌面。見開きでほぼA3サイズだが、迫力のこの一枚をコストを気にせずプリントできるとしたら。旅客機撮影の世界を広げるEP-10VAをレポートする。

写真・解説＝中野耕志

本誌フォトコン連載「ヒコーキ in Focus」は、プリント応募が条件。そこで毎回審査の際に感じることは、上位入賞者はプリントがうまいということ。裏を返せば写真のうまい人はプリントもうまい。それはなぜか。作品をプリントしたことがある方なら体験があるだろう。ファインダーやモニターで見ていたものとプリントとの印象が大きく変わって見えるのだ。これは作品をプリントすることで、自分の作品に対する客観的な視点が生まれるからだ。一枚のプリントが、作品がどう見えるか、どう見せるかを考える機会を与えてくれる。次回シャッターを切るときは、いわばこの「複眼」がおのずと働く。作品に対する様々な眼差しを持つ人の写真がうまいと感じるのは当然のことだろう。

低インクコストで気軽に 6色インクで高画質を

とはいえ、インクコストが気になってプリント

をためらうのも分かる。「Colorio V-edition EP-10VA」はそんな悩みを解消してくれる。従来機はL判1枚がおよそ26.5円※であるのに対し、EP-10VAは12.7円とおよそ48%までコストダウンを図っている。

もちろん高画質にもこだわっている。6色インクの構成を大幅に見直し、グレーとレッドを

追加した6色インク「Epson ClearChrome K2インク」を採用した。これにより、懐深い色鮮やかな高画質を実現した。実際、本誌面の作品のプリントを試してみた。光のグラデーションはただでさえ再現が難しいところだが、EP-10VAはイメージ通りの作品に仕上げてくれた。

さらにEP-10VAの面白さは、優れた基本

スペックもさることながら、作品作りに便利な使える機能が揃っている点。それもPCレスですべて操作が可能だから、これまでプリントをためらってきた方の良き相棒となるオススメの一台といえるだろう。

※A3対応のカラリオEP-979A3との比較。価格はインク+L判写真用紙合計。2016年9月1日時点のエプソンダイレクトショップ掲載価格(税別)を元に算出。



エプソン Colorio V-edition A3対応モデル EP-10VA

最高解像度:5760×1440dpi 最小インク滴量:1.5pl 対応インク:染料6色ノズル数:各180×6(計1080ノズル) PC接続:USB、有線・無線LAN カメラ接続:USB、Wi-Fi、IrDA、NFC、カードスロット:SD、CF、MS/MC Duo 大きさ:幅479×高さ168×奥行395ミリ 質量:約9.5kg(ACアダプター含まず) 価格:オープンブライズ



A4対応モデル EP-30VA

低コストと高画質はEP-10VAゆずり。A4プリント対応のコンパクトボディ、Colorio V-edition EP-30VAがラインアップ。

●お問い合わせ:エプソン カラリオインフォメーションセンター
TEL.050-3155-8022
●Colorio V-editionスペシャルサイト
<http://www.epson.jp/products/colorio/special/v-edition/>
スペシャルサイトでは、プリントコストのシミュレーションができます。

高画質、低コストだけじゃない PCレスでここまでできる

便利な作品印刷機能

作品づくりに役立つ、色補正や撮影情報付きの一覧が液晶タッチパネルだけで簡単に

プリント作業というと、パソコンを立ち上げて画像処理ソフトや印刷ソフトを立ち上げて……という工程が待っているのが常だが、EP-10VAならそんな面倒なことは一切無し。パソコンを使わずとも液晶タッチパネルによる直感的な操作でキレイに印刷できる。作品選択はもちろん、撮影情報付き印刷や色補正一覧印刷など、便利な機能で簡単に印刷できる。



SDカード、CFカード、USB、Wi-Fiなど、多彩なインターフェイスを装備。PCレスでプリンターへのデータ渡しができる。SDカードを差し込むと即座にデータの読み込みを開始する。あとは、液晶タッチパネルで印刷したい作品や操作を選択するだけで簡単にプリントできる。

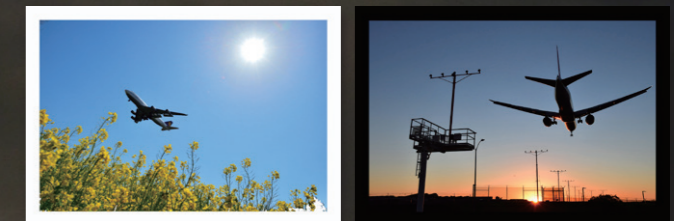
色補正一覧印刷

撮影情報付き印刷

手軽に完成度の高い作品づくり

白フチ、黒フチ写真を簡単に印刷できる。
手軽に作品力をアップする

写真の周囲にフチを付けると作品が引き締まり上品に見せることができる。EP-10VAは白フチや黒フチ写真も簡単に印刷できる。もちろんパソコン要らずで、タッチパネル操作でフチの種類や太さを選択できる。フチの種類は「フチ(白)」「フチ(白) 枠付き」「フチ(黒)」「フチ(黒) 枠付き」の4種類、フチの太さは「普通」「やや太め」「太め」「かなり太め」の4種類。



フォトコンにチャレンジ

プリントは旅客機撮影の楽しみの一つ。この楽しみを自ら放棄する手はない。これまではインクコストが気になってプリントを思いっきり楽しめなかったが、「Colorio V-edition」の登場で、そのハードルは確実に低くなった。プリントの仕上がりを楽しみながら腕を磨き、本誌「ヒコーキ in FOCUS」にチャレンジして欲しい。みなさんの感動の一枚との出会いを楽しみにしている。

